桜の開花期間のゴミ問題に取り組んでいます！

桜の開花時期における中目黒のごみ問題対策として、今年は「ゴミを出さない（Reuse&Reduce）・ゴミを資源に変えていく（Recycle&Upcycle）」をテーマに、資源循環素材のゴミにならない容器を使った取組や回収したペットボトル等をリサイクルグッズへ生まれ変わらせる取組を実施します！

- **ナカメサーキュラーチャレンジ**

期間	令和7年3月20日（木・祝）～4月6日（日）
会場	①NAKAME OHANAMI PARK（フナイリバ 中目黒1-11-18） ②目黒川沿い、中目黒駅周辺
内容	メイン会場となるフナイリバヒロバにて、ポリスチレン（PS）素材のカップ限定のフードコートを開設します。目黒川沿いの協力店舗でもPSカップでの提供を周知します。 また、回収ステーションで集めたPS・PP・Pet・割り箸をリサイクルさせる循環型イベントを開催します。
主催	一般社団法人ナカメエリアマネジメント

［これまでの様子］

食品ロス削減！！フードドライブの取組

「買いすぎてしまった」など、ご家庭で眠っている食品はありませんか？以下の町会・住区住民会議では、そのような消費しきれない食品を集め、必要とする福祉施設等へお届けすることで活用しています！（この活動を、フードドライブといいます。）

まだ食べられる食品を捨てる前に、
ぜひ各地域の収集場所にご持参ください！！

- 上一東町会：2か月に1回開催し、上一東町会会館で食品を集めています。
  （お問い合わせ　080-5504-2028　浅海あて）
  ※詳細は町会掲示板を参照
- 菅刈住区住民会議：奇数月の最終土曜日に菅刈住区センターで食品を集めています。
  （お問い合わせ　03-3461-7235　菅刈住区センター）

［上一東町会］

［菅刈住区住民会議］

子ども食堂を開催しています！

フナイリバ ヒロバなどでこども食堂を開催しています！今年度は5回開催しました。子どもたちの食を支えることはもちろん、みんなで食事をする体験や、多様な人たちとのコミュニケーションを体験することで、社会へつながる、街へつながるきっかけの場を目指しています。

- 会場：フナイリバ ヒロバ（中目黒1-11-18）
- 主催：中目黒住区住民会議

［開催の様子］

中目黒駅周辺地区街づくりニュース

第20号　令和7年3月　　発行：目黒区街づくり推進部地区整備課

街づくり協議会委員を募集します！

中目黒駅周辺地区では、街の課題や今後のあり方について話し合う場として、平成25年より街づくり協議会（町会・住区住民会議・商店街・東京商工会議所目黒支部の各代表者、公募区民で構成）を開催してきました。
街づくり協議会では、街の課題解決や魅力向上に向けて区の事業や地域主体の取組について、協議を行っています。このたび任期満了に伴う公募委員の改選を行います。これからの街づくりについての話し合いや活動に参加したいとお考えの方は、ぜひご応募ください。

対象	地区内に土地又は建物を所有されている方、お住まいの方、お勤めをされている方、地区内で事業を営まれている方
期間	就任から翌年度末まで（令和9年3月31日まで） ※会長・副会長の推薦があれば再任できます。
募集人数	3名程度（応募多数の場合は、抽選により決定させていただきます。その旨、ご了承いただきますようお願い致します。）
応募方法	郵送、FAX、メールのいずれかで、「中目黒駅周辺地区街づくり協議会　委員希望」と明記のうえ、名前、性別、住所、電話番号、メールアドレス（お持ちの方）をお書きいただき、**令和7年4月21日（月）まで**にご応募ください。
応募先	【郵送】〒153-8573　東京都目黒区上目黒二丁目19番15号 目黒区街づくり推進部地区整備課　中目黒地区担当あて 【FAX】03-5722-9239 【E-mai】nakameguro-kai@city.meguro.tokyo.jp 【電話】03-5722-9673（直通）

令和6年度の街づくり協議会の活動

令和6年度は街づくり協議会を4回開催し、中目黒駅周辺の街づくりに関連する取組について話し合いを行いました。
◆準備組合による（仮称）中目黒駅前北地区市街地再開発事業説明会開催について
◆GSC構想について
◆目黒川区道で行う実証実験について
◆桜開花時期の取組について
各回では、地域の将来像を見据えた計画や実証実験、イベント開催情報の共有、まちの課題への対応について意見を交わしました。
今後も、地域の皆様とともに、中目黒駅周辺の魅力向上に向けた街づくりを進めていきます。

［街づくり協議会］

お問い合わせ：目黒区街づくり推進部地区整備課　梅垣　齊藤　双木
電話：03-5722-9673（直通）　FAX：03-5722-9239
メール：nakameguro-kai@city.meguro.tokyo.jp

目黒川道プロジェクト2024を実施しました！

合流点遊び場付近（日の出橋～宝来橋）の道路を対象に、車両を通行止めにして歩行者専用の空間を創出し、イベントや滞留空間として活用する社会実験を開催しました。

日時	令和6年11月16日（土） 9:00～16:00 ※7:00～17:00 車両通行止め
場所	合流点遊び場付近の区道（日の出橋～宝来橋間）
プログラム	9:00～12:00 目黒川パン食い競走 13:00～16:00 滞留空間の創出
主催	一般社団法人ナカメエリアマネジメント
後援	目黒区
協力	パン食い競走協会、ロコクリニック中目黒、上目黒一丁目町会、上一東町会、青葉台日向町会、烏森住区住民会議、東京都市大学

［実証実験の様子］

●実証実験の調査

実証実験内の調査の趣旨としては、ウォーカブルなまちづくりの推進にむけた道路利活用の可能性を検討するため、十分な安全管理を行ったうえで、通行者等の積極的な交流促進を図るイベントを実施した際の印象や影響、歩行者優先化の意向について把握し、目黒川沿いの区道の「様々な人がつながり、交流・創造する場」として可能性を調査・検証することを目的としました。

【調査結果概要】
- アンケート回答数：108件
- 通過・入場人数：約3,190人（推計値）

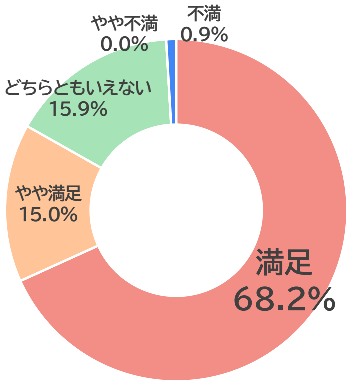
▼実証実験の様子はこちらで公開されています。

（PR TIMES：https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000006.000112994.html）

●来場者アンケート調査の結果

イベント満足度

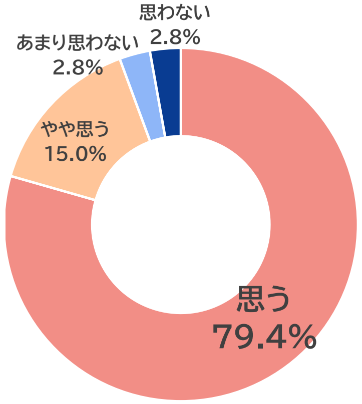
「本日のイベント参加で、どのくらい満足しているか教えてください。」の問に対し、「満足」と回答した方が68.2%、「やや満足」と回答した方が15.0%と、総じて満足している方が83.2%でした。



［イベント参加満足度］

歩行者優先化の意向

目黒川沿い区道の歩行者優先化について「思う」「やや思う」と回答した方が94.4%であり、大部分を占める方が肯定的な意見でした。



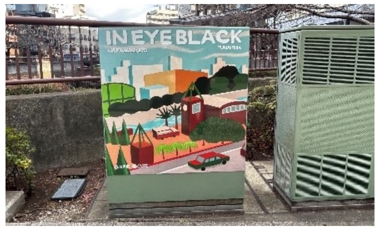
［歩行者優先化の意向］

トランスボックスがアート作品に！？トランスラッピングの取組

まちなかにあるトランスボックス（無電柱化に伴い設置された地上機器）への落書きを防止する目的のほか、トランスボックスにパブリックアート作品としての側面を持たせることで、アートを身近に感じながら、点在するトランスボックスをめぐって歩きたくなるまちづくりを目指し取組を行っています。

今年度は第1弾として「日の出橋」付近にあるトランスボックス1基に、地域コミュニティの活性化等を目的として公共空間利活用を行っている"フナイリバ"のイラストをラッピングしました。

［ラッピングのイメージ］



環状第6号線（山手通り）上目黒区間の事業が完了しました！

東京都では、環状第6号線（山手通り）の 上目黒区間（上目黒一丁目～青葉台二丁目、延長780m） において道路の幅員を拡幅し、中央分離帯や停車帯、自転車通行空間を含む歩道の整備を平成12年度から進めてまいりましたが、このたび令和6年度に完了しました。なお、本区間の整備完了により、品川区～板橋区の全線（約20km）の整備が完了しました。
また、令和6年12月18日（水）に、山手通りにおける置き看板の指導を実施しました。安全な歩行環境の維持に向け、適切な指導を進めていきます。

［整備前の様子］

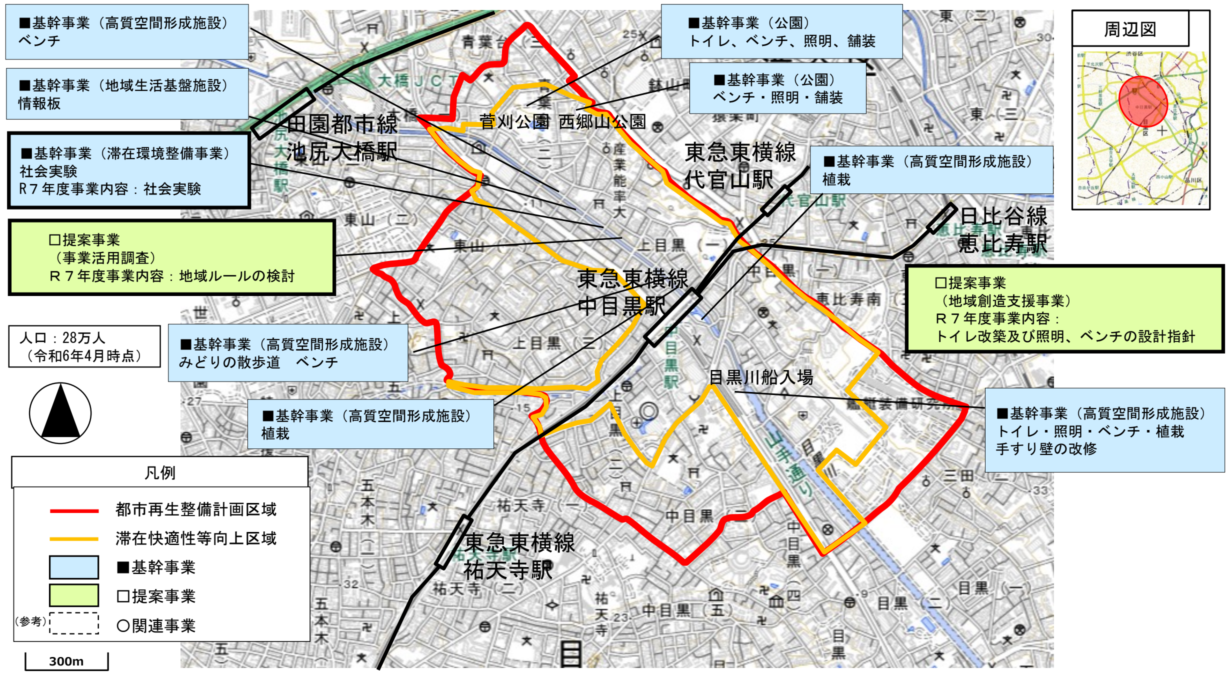
［整備後の様子］

［置き看板取締りの様子］

都市再生整備計画（中目黒駅周辺地区）を策定しました！

●中目黒駅周辺地区における都市再生整備計画の概要

令和6年に策定した「ナカメ未来ビジョン」に基づき、中目黒駅を中心としたエリアについて、ウォーカブルなまちづくりを進めることを目的にまちなかウォーカブル推進事業を推進します。このたび、5年間の具体的な実行計画として、都市再生整備計画（中目黒駅周辺地区）を策定しました。
まち歩きを楽しみ周辺スポットへ巡りたくなる歩行環境の整備と快適な利用によりゆったりくつろげる滞在環境の整備により、「中目黒、つながりが咲くまち」を目指した居心地が良く安全で歩きたくなる街の形成に向け、各種事業を推進します。ご意見があれば、表面お問い合わせまでご連絡ください。



［都市再生整備計画（中目黒駅周辺地区）の概要］

●都市再生整備計画とは

都市再生整備計画事業は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るための制度です。